

(様式⑦-1 小学校・中学校) 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像 堺市立鳳小学校  
 <鳳校区のめざす子ども像>: 思いやりをもち、自分も他の人も大切にし、認め合える人 校長 角野 兼太郎

令和8年度 学校教育目標「自ら学び 心豊かにともに育つ」  
 学校重点目標「認め合い 助け合い 学び合う」 キーワード「対話 あいさつ 挑戦」

<p><b>確かな学びの現状</b>                  本校では、令和2年度から生活科・総合的な学習の時間を研究の中心に据え、社会的実践力の向上に重点を置いて問題解決型の授業を意識した学習を進めてきた。昨年度は、問題解決のための対話に重点を置き、よりよく解決に向かおうとする姿勢を育てるため、子どもと子どもの対話を増やす「学び合いタイム」を取り入れた授業づくりを行ってきた。みんなで学ぶことが楽しいと思える授業づくり、集団づくりをめざしている。現状としては、みんなで学ぶ楽しさを感じている児童が多いが、話す・聞く力は全国平均に比べて低い数値となっている。自分の考えをもつことで対話の活性化が図れる。そのため、コミュニケーショントレーニングの実施や、書きたいと思えるような授業づくり、普段の授業から話し合う時間を積極的に取り入れながら、学習を進めて学力向上をめざしている。また、カリキュラムづくりにも力を入れ、生活・総合を軸にして他教科との教科横断を考えた計画づくりをしたり、児童の思いを実現できるように計画をしたりすることで、子どもたちの満足感にもつながり、生活・総合の時間が好きと感じている児童が8割となっている。</p>	<p><b>豊かな心の現状</b>                  指導を継続し、あいさつが習慣づいている児童が増えた。児童アンケートの「自分からすすんで挨拶をしている」の項目では肯定的な回答が89%、保護者アンケートの「子どもはすすんであいさつをしている」の項目でも肯定的な回答が76%であった。加えて、地域の方からも「あいさつをよくしている」という評価をいただくことができた。2年前より、「ありがとう」などの種類を増やすことに取り組み始めたため、今年度も継続してあいさつの種類が増えるよう取り組んでいく。あいさつの種類を増やすことで、相手を認め、尊重する心を育てたい。ルールやきまりについては、児童のアンケートの結果は廊下歩行で86%、きまりを守るで88%と肯定的な意見が多いが、廊下を走っていてけがをするなど、実態には課題がある。ルールやきまりを守る大切さに気付ける指導を継続する必要がある。</p>
<p><b>健やかな体の現状</b>                  本校は運動場が狭く、休み時間に十分に体を動かす機会が限られている。また、体育の授業以外に、休み時間や放課後の遊びにおいて運動に親しむ機会が少ない児童も多い。そのため、体力の向上を図るとともに、日常的な運動習慣の定着を図る必要がある。さらに、給食の残食率が高い傾向が見られるほか、生活習慣が乱れやすく、生活リズムを整えることが難しい児童も見受けられる。このため、継続的な食育の推進および基本的な生活習慣の定着に向けた指導が必要である。</p>	

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (2学期中)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	授業改善	・問題解決学習による考える力の育成	●子どもの「書きたい」という意欲を引き出す授業づくりに取り組む。	・校内授業研究、校内研修会での討議 ・児童アンケートの下記項目で肯定的回答が80%を上回る。 「自分の考えや気持ちをノートに書いている。」 「ふりかえりに自分の思いを書いている。」 「文章を書くのが好きだ。」	・協議 ・児童アンケート	年度末			
		・ICTの活用を推進する	★授業において、児童用パソコンを活用する。	学習で児童がパソコンを週2回以上活用する。 児童アンケートの下記項目で肯定的回答が80%を上回る。 「学校で自分用のタブレット(パソコン)を使って学習するのは楽しい。」	・児童アンケート	年度末			
	基礎学力	・書く力の育成	●授業の終わりに振り返りを書く時間を確保するようにし、児童自身の学びを言葉で整理できるようにする。 ●各学年に応じた「書く」取り組みを実施する。	・校内授業研究、校内研修会での討議 ・児童アンケートの下記項目で肯定的回答が80%を上回る。 「ふりかえりに自分の思いを書いている。」	・児童アンケート	年度末			
豊かな心・健やかな体	自尊感情の育成	・互いを認め合い、助け合う仲間づくり	●あいさつができるよう、また「ありがとう」などのあいさつの種類が増えるような取り組みを推進する。	児童アンケートの「あいさつ」に係わる項目で肯定回答が90%を上回る。	・児童アンケート	年度末			
			学校いじめ防止基本方針や人権教育計画をもとに互いを認め合う集団作りに取り組む。	児童アンケートの下記項目で肯定的回答が90%を上回る。 「人が困っているときは進んで助けている」					
			鳳人権の日を通してのつながりの充実	児童アンケートの下記項目で肯定的回答が80%を上回る。 「つながりWSの目標を意識し、過ごすことができた」					
	体力向上・健康	運動に親しませるとともに、体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。	●体育集会「なわとび検定」を通して、体育授業時・休み時間・放課後・休日等に児童自らが「運動しよう!!」「もっと運動がしたい!!」という意欲につながる。 「おとおリズムカード」を定期的に活用し、生活習慣(睡眠・朝食・排便・歯磨き・電子機器の使用)を整える取り組みを行う。 日々の給食指導の中で、喫食率を向上させたり食事でのマナーを意識したりできるような取り組みを行う。	・休み時間のなわとびタイムの参加状況 ・児童アンケートの下記項目で肯定的回答が80%を上回る。 「休み時間や放課後に、積極的に運動している」 ・年3回おとおリズムカードを実施し、生活習慣が整ったと感じる児童の割合を向上させる。 ・年3回実施する学級でのアンケートで肯定的回答が75%を上回る。	・児童観察 ・児童アンケート ・おとおリズムカード ・Formsアンケート(児童対象)	年度末			
子ども理解		個に応じた支援体制づくり	子ども支援委員会で支援体制・支援方法を検討、工夫する。	支援体制・支援方法を計画通りに進めている。	・自己診断	年度末			
			学校環境のUD化	学習環境の整備を行う	・実績報告	年度末			

校長より(年度末) 学校関係者評価者から(年度末)